

氏名	陳 喬 琪
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2426 号
学位授与の日付	平成 4 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	ALDEHYDE DEHYDROGENASE DEFICIENCY, FLUSH PATTERNS AND PREVALENCE OF ALCOHOLISM: AN INTERETHNIC COMPARISON (アルデヒド脱水素酵素欠損, フラッシュパターンおよびアルコール依存症の発症率: 民族間での比較)
論文審査委員	教授 庄盛 敏廉 教授 森 昭胤 教授 産賀 敏彦

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

台湾の 4 村に在住する無作為に選ばれた漢族 94 名, Atayal 族 70 名, Paiwan 族 66 名, Yami 族 61 名を対象に, アルコール依存症の有無, ミトコンドリア アルデヒド脱水素酵素 (ALDH-I) の表現型, アルコールで誘発される flush パターンを調べ, 各民族間で比較し, アルコール依存症発症の生物学的機序を検討した。その結果, 台湾在住漢族中 ALDH-I の欠損率は 51.1%, これに対し台湾原住民族である Atayal 族では 6.4%, Paiwan 族では 3.9%, Yami 族では 0% であった。ALDH-I 欠損率とアルコール依存症の発症率には負の相関が認められた。また, 両民族のアルコールで誘発される flush パターンも異なっており, 原住民のアルコール依存者は著明な slow flush パターンを示した。人類のアルコール感受性は, アルコール嗜癖発生及び維持に重要な役割を演じている。著者らは, 民族間でアルコール依存症発症率が異なる背景に ALDH-I 欠損率の差異があることを指摘し, その発症に生物学的基盤が無視できないことを考察した。

なお, 本論文は共著論文であり, 共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は, アルコール依存症 (AD) について生化学的および疫学的に研究したもので

あるが、従来あまり調べられていない頭髪毛根アルデヒド脱水素酵素アイソザイム（ALDH-I）などを指標にして、台湾における異なる民族を比較すると、ALDH-I 欠損率とADの発生率には負の相関があるという、AD発症における生物学的基盤に関する重要な知見を追加したものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。